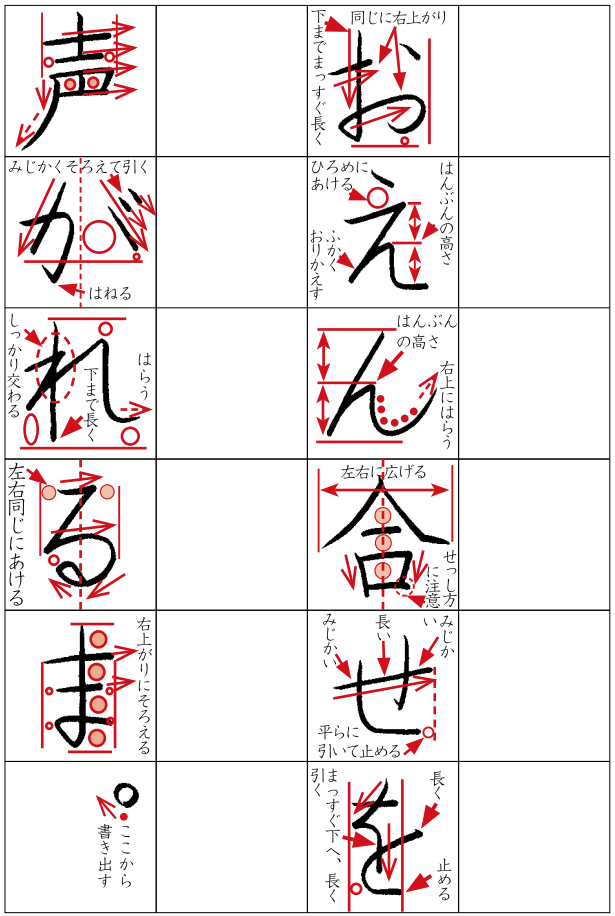
硬筆指定課題 評価の観点

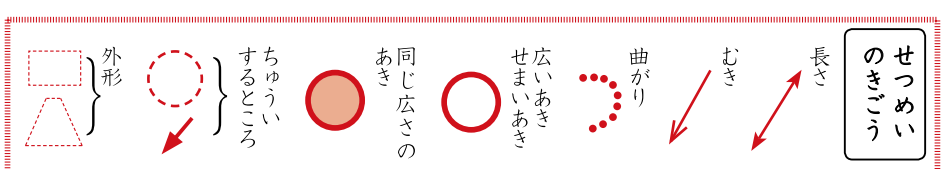
《小3》 大平恵理 書

はじめに、しせいとえんぴつの持ち方をたしかめます。
正しく整って書けているか、が大切です。「止め・はね・はらい、せんの長さとむき、あき、おれ、おりかえし、曲がり、そり、せんとせんのつき方と交わり方、一字一字の組み立て方、筆順、筆圧」に気をつけて書きましょう。

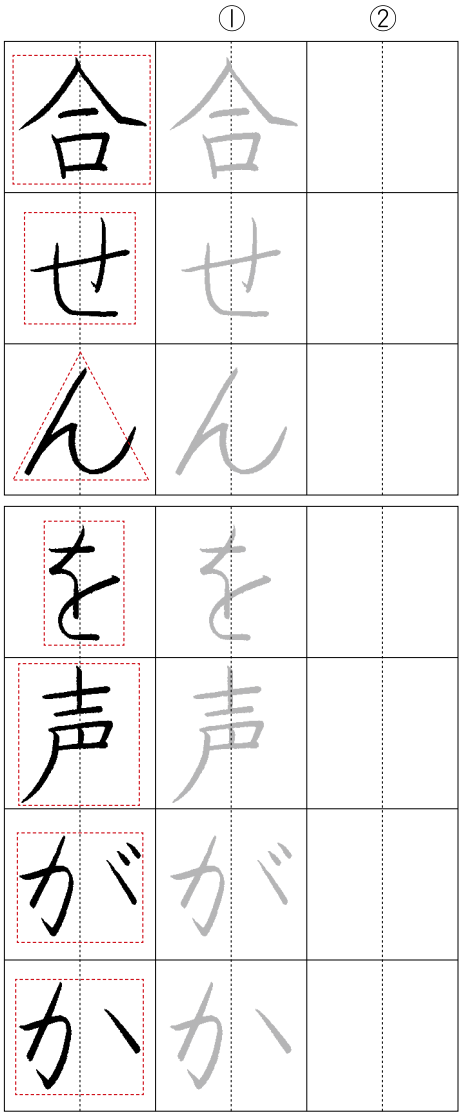
手本の文字を見ながら、右のマスに書いてみましょう。



※「筆圧」とは、えんぴつの先から紙に伝わる力のこと、また、「外形」とは、だいたいの形のことです。



漢字は大きめ、ひらがなは小さめ、画数の多い文字は大きめ、少ない文字は小さめです。外形も考えて、読みやすく書くようにしましょう。



※次のむすび方でもよい。「 ま 」

しめいは上と下のあきをそろえて、かだいの文字より少し小さめに書きます。

小三

第6回全国書写書道総合大会 平成29年度全国硬筆コンクール 主催公益財団法人文字・活字文化推進機構 一般社団法人日本書字文化協会